

④ナイトハイキング



【活動時間の目安：ショート（30分） ロング（1時間）】

概要	交流の家の敷地内コースを夜間歩く活動です。視覚がさえぎられることにより視覚以外の感覚が鋭敏になり、普段気づかない「音」や「におい」、「風の流れ」などを感じることができ、感性を磨くことができます。コースはショート（約 800m）、ロング（約 2 km）の 2 種類があります。			
ねらい	夜間に自然に親しむとともに、心身の健康の充実を図ります。			
条件	対象	小学 1 年生～	人数	制限なし
	時期	5 月～ 1 0 月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家(貸出物品)		団体（準備物）	個人（準備物）
	□地図 □熊鈴		□救急セット	□雨具 □長袖、長ズボン □懐中電灯
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また安全の確保のために引率者のコース配置を指示します。		
	グループ責任者	活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・ 物品の貸出や回収を行います。 ・ 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	【活動実施前に引率者が行うこと】 ・ 明るいうちにハイキングルート、所要時間、危険箇所、引率者の配置場所等を確認します。 ・ 引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。 【活動】 ・ グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 ・ グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 ・ 引率者は配置された場所に待機して、各グループの通過や安全確認を行います。 【実施後】 ・ グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。			
安全管理留意事項	○グループ責任者は明るいうちに必ずルートの確認を行ってください。 ○引率者は参加者がコースや集団から離れないように引率者同士で適宜連絡を取り合ってください。 ○参加者は懐中電灯を一人 1 個準備してください。 ○参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。 ○活動の途中で立ち止まって明かりを消し、声も音も出さない時間を作るとより自然を感じることができます。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。			